

山使用マニュアル～ギターアンプ編～

名フォ所有のギターアンプはRoland JC-120(通称 JC)、Marshall JCM-800(マーシャル)、Fender Devile(デヴィル)、TUBE WORKS TUBE DRIVER(チューブ)の4台です。他のアンプは個人の機材なので持ち主の許可なしで絶対に使わないこと。ギター、エフェクターはすべて個人の物なので使わないこと。自分のを持てきましょう。



「JC」



「マーシャル」



「デヴィル」



「チューブ」

◇アンプの使い方

- ①ギター、エフェクター、アンプをシールドでつなぐ。
- ②アンプのツマミがすべて下がっていることを確認。
- ③POWER を on。JC はこれでボリュームを上げれば音が出せます。
※マーシャル、デヴィルの場合はこの状態で真空管を暖めてあげた後(1分くらい)で、STANDBY スイッチを on にします。

◇使い終わったら

- ④アンプのツマミを全て下げる。
- ⑤STANDBY→POWER の順にスイッチ off。
- ⑥シールドをはずす。



←デヴィルスタンバイ中…

間違った使い方をするとうアンプに過度な負担を与え、下手をすると壊れます。特にマーシャル、デヴィルは真空管を使っているため、壊れやすいです。部員みんなの物なので大切に使いましょう。

◇音作りについて

エレキはアコギと違い、アンプで「音を作り」ます。

・ JC の場合

JC-120 には CHANNEL 1、2 の 2 系統がついており、それぞれ独立のプリアンプを装備しています。基本どちらを使っても同じですが、CHANNEL 2 はコーラスなどのエフェクトが使えます。

音作りは VOLUME で音量、TREBLE・MIDDLE・BASS でそれぞれ高域・中域・低域の強さを調節していきます。

・ マーシャルの場合

マーシャルは JC より少しツマミが多いです。MASTER は JC の VOLUME と同じです。PRE-AMP は他のアンプで言う 'GAIN' や 'DRIVE' です。この 2 つのツマミで音量や歪み(ひずみ)具合を調節します。一般的にはクリーントーンは MASTER 高め、PRE-AMP 低め。歪みは MASTER 低め、PRE-AMP 高めの設定が多いです。具体的にどう変わるかは自分で探してみましょう。

あとは JC と基本的には同じです。違うのは PRESENCE ツマミがあること。これで TREBLE よりも上の帯域の強さが調節できます。まあ自分で試してみましょう。

・ デヴィルの場合

上の 2 台と基本的な使い方は一緒です。ただスイッチが多いのでちょっと解説。

クリーントーンを作りたい場合は CHANNEL SELECT スイッチを off。音量は VOLUME スイッチです。このとき MASTER、DRIVE は効きません。

歪ませたいときは CHANNEL SELECT スイッチを on。MASTER と DRIVE で音量、歪み具合を調節します。VOLUME は効きません。なお、もっと激しく歪ませたいときは MORE DRIVE スイッチを押しましょう。

音作りはとても奥が深いです。いろいろな設定を試してみましょう。